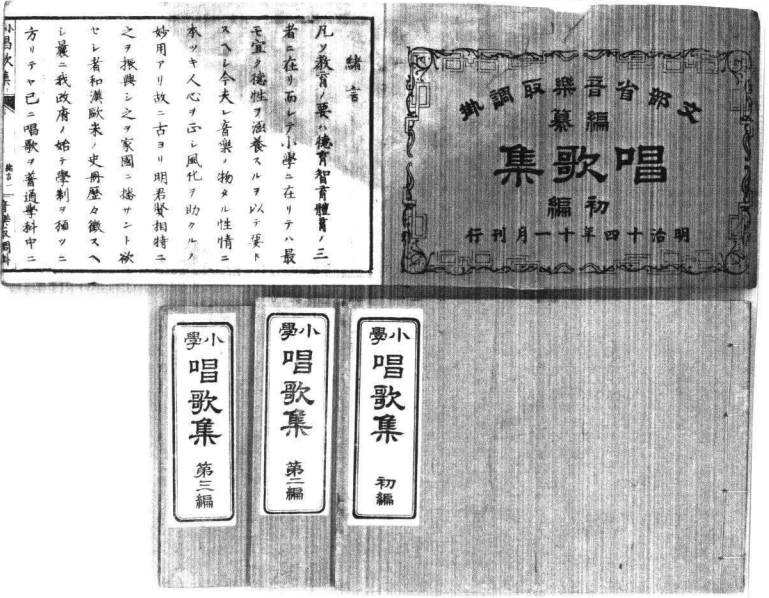


伊澤修一 いざは 教育家。嘉永四年六月二十九日信濃國伊那郡高遠生れ、大正六年五月二日歿（八五—一九七）。號好歌翁、樂石居士。少時藩費、道德館に入り國漢學を修めた。明治二年貢進生となり、五年大學南校卒業。七年愛知縣師範學校校長、翌年アメリカ留學、歸朝後の十一年東京師範學校校長補兼體操傳習所主幹。翌年文部省の音樂取調掛が創設せられ、その長として傳習生の教育、教科書『唱歌集』（初編・明治十四年十一月、第一編・十六年六月、第二編再版・十八年五月文部省藏版々權所有）の編纂等、音樂教育の基本方針を示した。また文部省書記官から編纂局長として最初の國定教科書作成に従事。（二十一）年音樂取調掛を改組した東京音樂學校校長、兼て東京音樂學校校長となる翌年承職。二十八年臺灣總督府民政部學務局長として新領土の教育に就き劃策。三十一年東京師範學校校長。この間（二十二年）國家教育社を創設（のち大日本教育會と併合し帝國教育會と改稱）。後年は樂石社と興して『專ら』、『音矯』正事業の管、雑誌『樂石叢誌』を創刊。唱歌『純元節』等々作曲した。

著書に、『教育生理的心理說略』（明治三十四年八月）、『金港堂書籍株式會社』（北發音矯正法）（内題『視話應用東北發音矯正法』明治四十二年四月）



樂石社・大日本圖書株式會社（等）。

